

- 問1 地形図において、等高線の間隔が非常に狭くなっている急傾斜地を道路が通る際、等高線に沿うように蛇行したり平行に走ったりする様子が見られることがあります。このような地形において、あえて直進せずに等高線の流れに沿って道路を配置する主な理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 静岡県公立入試 類似)

1. 周辺にインターチェンジを設置するための広大な平地を確保するため

2. 傾斜をゆるやかにすることで、車両が安全に通行できるようにするため

3. 広葉樹林の伐採を最小限に抑え、自然景観を保護するため

4. 目的地までの距離を最短にし、建設コストを大幅に削減するため
- 問2 緯度と経度の基準となる線について、それぞれの名称と定義の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2016年 茨城県公立入試 類似)

1. 緯度0度の線を赤道、経度0度の線を本初子午線と呼ぶ。

2. 緯度0度の線を本初子午線、経度0度の線を赤道と呼ぶ。

3. 緯度0度の線を日付変更線、経度0度の線を赤道と呼ぶ。

4. 緯度0度の線を赤道、経度180度の線を本初子午線と呼ぶ。
- 問3 ベトナムやフィリピンなどの発展途上国における、2000年から2016年にかけての通信環境の変化について、統計上の傾向を正しく説明しているものはどれですか。 (2019年 愛媛県公立入試 類似)

1. 固定電話の普及が優先され、2016年時点でも携帯電話より固定電話の契約数の方が多い。

2. 先進国と比較して携帯電話の普及速度が極めて緩やかであり、依然として情報化が遅れている。

3. 固定電話・携帯電話ともに契約数は横ばいであり、伝統的な郵便による通信が主流である。

4. 携帯電話の普及が急速に進み、2016年には契約数が人口100人に対して100件を超える水準に達した。
- 問4 東京を中心とした、中心からの距離と方位が正しく表される地図（正距方位図法）において、東京から見た各地域への方位と距離の関係について述べた文として正しいものはどれですか。 (2019年 千葉県公立入試 類似)

1. ヨーロッパの諸都市は、東京から見て西の方角に位置しており、南米大陸よりも東京からの距離が遠い。

2. 南米大陸のブラジル付近は、東京から見て真東の方角に位置しており、世界の中で北米大陸よりも東京に近い。

3. アフリカ大陸の南部は、東京から見てほぼ南の方角に位置しており、ヨーロッパよりも東京からの距離が近い。

4. 北米大陸の西海岸は、東京から見てほぼ北の方角に位置しており、南米大陸やアフリカ大陸よりも距離が近い。
- 問5 地形図で標高が等しい地点を結んだ曲線や、㐂の記号で表される施設名称の組み合わせとして正しいものを1つ選びなさい。 (2025年 宮城県公立入試 類似)

1. 標高を結んだ曲線：等圧線 / 㐂の記号：博物館

2. 標高を結んだ曲線：等高線 / 㐂の記号：神社

3. 標高を結んだ曲線：等温線 / 㐂の記号：寺院

4. 標高を結んだ曲線：等高線 / 㐂の記号：寺院
- 問6 観光に関する統計資料において、観光客の「満足度」を地域ごとに分析する目的や背景として最も適切な説明はどれですか。 (2025年 愛媛県公立入試 類似)

1. 出発地域ごとのニーズや傾向を把握し、それぞれの地域に適した観光プロモーションやサービスの改善につなげるため。

2. 特定の国の満足度を意図的に高く公表することで、その国からの観光客だけを優遇する制度を作るため。

3. 満足度の低い地域の観光客を制限し、満足度の高い地域の観光客のみを受け入れる排他的な政策を推進するため。

4. 観光客数が多い地域ほど満足度が高いという世界共通の法則を証明し、宣伝費を一点に集中させるため。
- 問7 東経150度に位置するシドニーと、西経45度に位置するリオデジャネイロの間の時差を求める方法として正しい説明はどれですか。地球は24時間で360度回転し、本初子午線を基準として経度が決まっていることを踏まえて答えなさい。 (2026年 鳥根県公立入試 類似)

1. 本初子午線からの距離に関わらず、東経と西経それぞれの値を15度で割り、その合計を24時間から引く。

2. 緯度の差を求め、地球の公転周期に合わせて15度につき1時間の割合で換算する。

3. 東経の値から西経の値を引き、その差を15度で割る。

4. 東経と西経の値を足して合計の経度差を求め、それを15度で割る。
- 問8 日本が1月30日の午前10時であるとき、南米のブラジルなどはまだ1月29日であるという現象が起こります。このように、日付変更線を越えずに西向きに大きく離れた地点間で日付の差異が生じる仕組みについて述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 茨城県公立入試 類似)

1. 日付変更線は太平洋上に設定されており、日本から西向きに移動して本初子午線を通過した時点で、国際的なルールにより日付を1日戻すと決められているから。

2. ブラジルは日本から見て地球の反対側の西半球に位置し、緯度の違いによって太陽の南中時刻が大幅にずれることで、日付の計算方法が異なるから。

3. 日本とブラジルの間には大きな時差があるが、季節が北半球と南半球で逆になるため、日付を調整するためにブラジルでは時刻を1日遅らせているから。

4. 地球は西から東へ自転しており、日本は日付変更線のすぐ西側に位置して世界でも早く時刻が進むため、西にあるブラジルとの時差によって日付が遅れる。
- 問9 世界地図上の位置関係について述べた次の文の空欄に当てはまる語句として最も適切なものを、あとのうちから選びなさい。「北アメリカ大陸の東部に位置するワシントンD.C.と、南アメリカ大陸の西部に位置するリマは、地球上の位置を示す（ ）がほぼ共通しているため、この2つの都市の間にはほとんど時差が生じない。」 (2015年 佐賀県公立入試 類似)

1. 等温線

2. 緯度

3. 経度

4. 標高
- 問10 「信濃小倉」という名称の2万5千分の1の地形図において、標高805mの室山の山頂から、その南西方向にある標高約775mの神社まで移動したとする。この二地点間の標高差を等高線に基づき算出した記述として、適切なものはどれか。 (2017年 茨城県公立入試 類似)

1. 標高が高い地点から低い地点へ移動しているため、距離に関わらず標高差は0mとみなす

2. 山頂の805mから神社の約775mを引き、標高差は約30mである

3. 2万5千分の1の縮尺に従い、30mを25,000倍して標高差を求める

4. 主曲線の間隔は10mであるため、標高805mから等高線を1本挟むと標高差は50mになる
- 問11 2000年から2014年にかけての世界経済の変化について説明した文として、最も適切なものはどれですか。なお、この期間において、世界の国内総生産（GDP）の総額は333兆ドルから780兆ドルへと2倍以上に増加していますが、そのうちG7（主要7カ国）が占める割合は65%から46%へと低下しています。 (2017年 大阪府公立入試 類似)

1. G7諸国の国内総生産の総額がこの14年間で減少に転じたため、世界全体における経済的な格差が解消される方向に進んだ。

2. 新興国の経済成長に伴って世界全体の国内総生産の総額は減少したが、G7以外の国々が占めるシェアは相対的に上昇した。

3. G7諸国の人口が世界全体の大部分を占めるようになった結果、1人あたりの生産性が低下し、世界全体に占めるGDPの割合も低下した。

4. G7諸国の国内総生産の総額自体は増加しているが、新興国などの経済成長がより急速であったため、世界全体におけるG7の割合は低下した。